

主な地域SNS

はちみーつ <http://sns.city.hachinohe.aomori.jp/>



ちよっぴー <http://www.sns.mm-chiyoda.jp/>

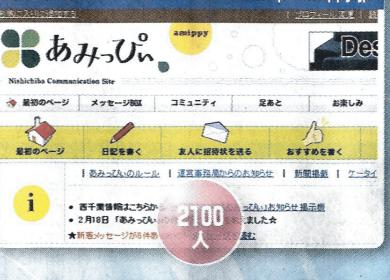


gotoかたらんねっと <http://sns.egoto.jp/>



地域を限定し、インターネット上で参加者が意見や情報交換をする場(サイト)を提供するサービス。イベントなどで直接の交流もできる。自治体が参加して防災情報やお知らせを伝えるものもある

あみっぴー <http://amippy.jp/>



ひよこむ <http://hyocom.jp/>



ごろっとやっちろ <http://www.gorotto.com/>



グラフィック山田英利子/The Asahi Shimbun

SNSは一般に会員の招待がないと参加できず、参加者は名前や住所などのプロフィルを事前に登録する必要があります。国内では会員数1330万人を誇るmixi(ミクシィ)が有名です。この仕組みを地域の交流や活性化に生かそうというのが「地域SNS」です。地方自治情報センターの調べでは、07年1月時点で全国に約210の地域SNSがありました。

日記を書いたり、ネット上のサークル活動である「コミュニティ」に参加したり、会員同士でコメントしあったりといった機能は通常のSNSとほぼ同じ。一方で、地域限定型のSNSならではの機能やメリットもあります。その一つが「実世界とネットの融合」です。会員の大半が直接交流できる地域に住んでいるので一般的なSNSより会員同士が対面する機会が多いのです。西千葉地域の「あみっぴー」

参加者が互いに友人を紹介しあい、インターネット上で交友関係を広げるコミュニケーション型ウェブサイト、SNS(ソーシャル・ネットワーキング・サービス)。最近は地域限定型のSNSが続々と登場しています。使い方はSNSと同じですが、地域おこしや行政の防災情報の発信など、従来のSNSにはない目的や特色を備えたものもあります。

広がる地域限定型SNS

現実世界とネットを融合

行政も積極的にかかわる

三つの特徴が行政との連携です。兵庫県は「ひよこむ」の会員(年齢も職業も様々で身元が確かな数千人の集団)に着目し、行政施策への意見モニターなどを依頼しました。自治体の電子会議室などから発展したSNSもありました。熊本県八代市情報推進課の小林隆生さん(33)は04年、それ

は地元の大学生とシニア世代の交流を目的に生まれた地元の商店街も参加しています。原則として一度会った人を招待する仕組み。運営するNPOの代表の虎岩雅明さん(29)は「出会い系でなく『出会った系』。実生活で会った人さらに仲良くなるツールです」。青森県八戸市が運営する「はちみーつ」では、サイトで知り合った地元の主婦らが意気投合し、写真展を開くことになったそうです。

二つの特徴は、地域SNSの多くの比較的厳しい入会ルールを設けていることです。実際の地域活動との連携が強みだけに置き名性の高いネット社会特有の荒らし行為などは御法度です。兵庫県内の有志でつくる「ひよこむ」は招待者が「後見人」となり、会員のプロフィールのチェックやトラブル解決に協力する仕組みです。後見人がいないと利用できず、何かの事情でなくなったたら1カ月以内に見つけないとなりません。

三つの特徴が行政との連携です。兵庫県は「ひよこむ」の会員(年齢も職業も様々で身元が確かな数千人の集団)に着目し、行政施策への意見モニターなどを依頼しました。自治体の電子会議室などから発展したSNSもありました。熊本県八代市情報推進課の小林隆生さん(33)は04年、それ

まことに市民への掲示板などに使っていたグループウェアをSNSに衣替えしました。「子育てや趣味、環境問題などで市民が集まる場として始めたところです」。ひよこむは、兵庫と連携による地域活性化を目指した取組の一環で、兵庫県は「ひよこむ」について「ひよこむ」とは約半数が県出身者、残りは東京や福岡など都市在住者です。東京都の地域SNSアドバイザーの伊藤淳子さんは昨年、地元の人たちと島の特産品のネット通販の可能性を探るコミュニケーション会を開いたりしました。五島

出身の都内のウェブデザイナー金子朗さん(39)も参加し、地元の地鷄農家に料理家や写真家を紹介して「売り方」を指南したり、仲間を集めて試食会を開いたりしました。同市には07年度に全國から13世帯23人が移住し、SNS上のコミュニティ活動はますます活発になっています。

てくの 生活 入門

まるほどの大災害では顔の見える者同士の口コミ情報が力を發揮する」と言います。同省は05年度、東京都千代田区と新潟県長岡市で地域SNSの実証実験をしました。住民同士の交流や災害時の連絡網に活用するのが目的です。「ふだんは人が集う場、災害時には避難場所になるネット上の『公園』がSNSです」(牧さん)

地域SNSは地方と都会をつなぐ役割も果たします。長崎県五島市の「gotoかたらんねつ」は約半数が県出身者、残りは東京や福岡など都市在住者です。東京都の地域SNSアドバイザーの伊藤淳子さんは昨年、地元の人たちと島の特産品のネット通販の可能性を探るコ